

研究評価委員会分科会の各委員からの所見について(事前評価)

課題名「川砂・川砂利を原骨材とする構造用再生粗骨材の品質管理ならびにそれら再生粗骨材を使用したコンクリートの調合と品質・評価に関する研究」

1. 主な所見

- ・ 所見 : コンクリート廃棄物の予測量の資料から課題の必要性は十分理解でき、規格・基準の動きと連動しており目的は時宜にかなっている。また、建設リサイクルと環境破壊防止を進める上で本研究はコンクリート構造物の基幹に係わる過大であるが、経済原理だけでは成立しにくい問題であり、行政的な強制力を用いて解決を目指す必要があることから、建研にふさわしい課題である。
- ・ 所見 : 研究項目毎の詳細内容についてはまだ不十分な点もあるが、研究目的および必要性は明快で、成果の有効性について説得性のある説明がなされおり、体系的に良く練られた計画と思われる。なお、調合などの仕様を、確実にその工事が行われ性能を発揮するための施工管理上のポイントを考慮に入れて整備されたい。
- ・ 所見 : 施工技術や管理方法など施工現場の実態を踏まえると伴に、適正な評価を定める為に各学協会や研究機関、民間企業など各方面との協力関係の下に成果が浸透され、国内外に幅広く情報発信されることを期待したい。本課題は要求される成果の質、量とも多く、研究期間や体制が必ずしも十分とは思われないが、計画に沿って達成されることを望む。
- ・ 所見 : 現状では、1種相当品を除き再生骨材に関連する実用化への総合的な仕組みは未だ構成されていない。本研究はこの未完部分の構築を目的としたものであり、本格的な実用化に向けて極めて緊急で重要な課題である。

2. 主な所見に対する回答

- ・ 所見 および に対する回答: 今後増加が予想されるコンクリート塊の処理問題を解決するためには、建築分野での利用促進が必要不可欠であり、建築分野に適した使用用途区分とその基準、ならびに共通評価を行うための項目やその方法を提示することは、建築行政を支えその技術基準の整備を使命の一つとする独立行政法人建築研究所の重要な役割であると考えております。なお、施工管理方法等については、普通コンクリートと同様の施工性の有無などいくつかの検討課題があると考えております。今回の評価を踏まえ、施工管理を含めた各研究項目毎の詳細を実施までに検討いたしたいと考えております。
- ・ 所見 に対する回答: 本課題の目標とする成果は、建設リサイクルを推進する上で必要不可欠であり、その実施に当たっては、研究方針や調査・実験を含め、所内だけではなく、大学や民間等の関連研究機関ならびに再生骨材製造メーカ、施工メーカなど本課題に係わる民間企業との共同研究を行うと伴に、関連学協会等とも連携を図りながら実施し、成果が出たものから学協会の論文、報告などの形で、早期に情報発信したいと考えております。
- ・ 所見 に対する回答: 1種相当品の製造量は全体の数パーセントであり、コンクリート塊の処理と建築への用途拡大を促進するためには、現在の粗骨材2種の品質基準をコンクリートの用途区別に再分類する事も視野に入れ、骨材品質のバラツキ、コンクリートとしての耐久性や施工性などの技術課題を整理・検討し、再生骨材コンクリートに関する規準類の早期整備を目指す所存であります。